

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2010.2
198

『在庫』の話

最近、売上げよりも材料を買い過ぎて逆に
や現象が起きて皆さんが一所懸命汗してやっ
ていただいた仕事の結果として表れなくなっ
ています。

“在庫”は『安心賃』(TPS用語)とも言います。
在庫があれば

「機械故障が起きても安心」

「人が欠勤しても安心」

「材料を沢山買っておけばラインが止まらな
くて安心」

「余分に作っておけば急な注文も対応できて
安心」

「10個の注文なのに13個発注しておけば不

良を作っても安心」などない

ただその『安心』は問題を見えなくしている
ものなのです。会社が小さい時はともかく会社
の規模が大きくなればなるほど『在庫』で問題
は見えなくなり経営(利益)を圧迫するの
です。

単純な事ですが買った材料は即売するのが
一番です。在庫として持っている製品は古く
なりサビたりほりがかぶったり出荷する前
に洗浄しサビを取り、余分な手間とお金をか
けるわけです。当然儲かるわけがありません。

イナテック社員の人たちが皆で力をあわせて
汗して一所懸命作っていただいても利益が出な
い儲からない構造になってしまつたわけです。在
庫は『ゼロ』が基本です。

「学ぶ」の語源は『まねる』

「学ぶ」の語源は『まねる』から来ている
ようです。

まずは先生(先輩)・お客様 etc. の言われる
事を『まねる』ことが『学ぶ』に繋がると言
うことです。

“守破離”も同じ事を意味しています。

まずは先生の言われる通りに型(動作)の決
まり、決まった形式)から入って行く事が大
切です。最初から“型”を守らずやることも
せずに『破』、つまり自己流でやっても身に
つかないという事を古典は伝えているわけ
です。

つまり、“学ぶ”は『まねる』ことが大切
でそこが出発点だと言つたことです。

我々の業界で言つと“水平展開”とか“横
展”“パクリ”です。

『まねる』こと、そして“標準化”する。
“守り続ける(遵守)”次は“改善(ステッ
プアップ)”です。

もう一度仕事のやり方、学び方を整理して
下さい。スピードが上がります。

“配慮”って何なのかなのどよめか

東京に出張で電車に乗っているときのことだ
した。若い女性(大学生)が電車のドア付近に立
つてみました。次の駅に電車が近づき、お年
寄りが出入口に行って準備をしようとして立ち上

がりました。その時、電車が揺れておじいさんはぶらつき出入り口の取っ手に必死でしがみつきました。その女性は譲りもせずふつとした顔でおじいさんをにらみつけるわけです。おじいさんもわざとではないのですがお互い声を掛けるでもない。しかも面をして無視し続けていました。その光景を見てなんと寂しいことだろうと・・・

若者もお年寄り(先輩)に、お年寄りも若者にお互い譲り合い一言くらい声を掛け合ってもいいんじゃないかと思うとです。

礼節(マナー)はお互いを敬ぶ心、お互いの気持ちを理解する事が基本ではないでしょうか。

何も難しくないよ、みんなよく「気配り」「譲り合い」でこの世は「変わります」。

気持ちの良い2010年にするためにも心がけたい「光景」でした。